

「ネパール中部地震」被災者緊急救援のお願い

RNN 事務局長 黒住 宗道

各位

4月25日、15時11分(現地時間11時56分)頃、ネパールの首都カトマンズから北西77km(北緯28.16度、東経84.72度)地点を震源とする、マグニチュード7.9の大地震が発生しました(米国地質調査所による)。

カトマンズでは、煉瓦造りの建物が多い旧市街地を中心に甚大な被害が発生している模様です。カトマンズのAMDAネパールの支部長サロジ・オジャ医師らの安全は確認できましたが、現地との通信が大変繋がりにくい状況が続いています。

この甚大な被害に鑑み、AMDAでは日本からの緊急支援チームの派遣を決定しました。本日26日中にマレーシアのクアラルンプールまで行き情報収集などを続け、カトマンズ空港が再開次第カトマンズ入りしてAMDAネパール医師団とともに医療支援活動を行う予定です。

■日本からの派遣者プロフィール

大政 朋子(おおまさ ともこ) AMDA GPSP クアラルンプール事務所長

(4月のサイクロンパム緊急支援活動から帰国後、本部滞在中)

柴田 幸江(しばた さちえ) プロジェクトオフィサー 看護師

■現地協力団体

AMDA ネパール

AMDAネパール支部は、91年のビスヌ村プロジェクト、巡回診療プロジェクトを皮切りに、様々な医療プロジェクトを実施してきました。また93年のジブチのソマリア難民緊急医療支援以来、04年のスマトラ沖大地震大津波、10年のハイチ大地震他、数々のAMDA多国籍医師団の緊急医療支援活動に参加しています。

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面のめ切を本日から1ヵ月後の2015年5月26日といたします。宜しく願いいたします。

RNN 定例会議(1998/7/24開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ① RNNのメンバーが被災した場合
- ② 「トピアの会」のネットワーク(INNED、姉妹校等)が被災した場合
- ③ AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はAMDAへの委託とともにRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「ネパール中部地震」とご明記下さい。

以上

RNN 郵便振替口座

加入者名：RNN

口座番号：01310-9-63933